

平成29年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	神経回路修復医学の創成
研究代表者	山下 俊英 (大阪大学・医学系研究科・教授) ※平成29年6月末現在
研究期間	平成29年度～平成33年度
コメント	<p>応募者は、これまでに神経回路修復に関連して新規性・独自性のある研究業績を上げており、国際的にも高い評価を受けている。本研究は、これらの研究業績を基盤に、免疫系、脈管系さらには全身臓器も含めた生体システムとしての神経回路修復機構の解明を目指すものであり、極めて独自性の高い研究である。</p> <p>計画の実現に向けた研究体制も整っており、着実な研究成果が得られると予想される。目標が達成されれば、新たな神経回路修復機構の解明に加え、創薬など臨床応用の可能性も期待される。</p> <p>以上の理由により、基盤研究（S）として推進することが適当と判断した。</p>